

PE管剥離カッタ 取扱説明書

■はじめに

PE管剥離カッタ（サイズ：50、75、100、150、200）をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、十分理解した上で、正しくお使い下さい。

品名	品番
PE管剥離カッタ 50	PEHI-50
PE管剥離カッタ 75	PEHI-75
PE管剥離カッタ 100	PEHI-100
PE管剥離カッタ 150	PEHI-150
PE管剥離カッタ 200	PEHI-200

この取扱説明書は、PE管剥離カッタを安全にお使い頂き、あなたや他の人々への危害と財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項が、記載されております。

お読みになった後は、PE管剥離カッタをご使用される方が、いつでもお読みになれるように保管しておいて下さい。

わかり易くするための表示と図記号の意味は、次のようになっていますので内容をよく理解してからお読み下さい。

△注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的傷害の発生が想定される内容を示しております。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な事項が記載されていますので、必ずお守り下さい。

■使用目的

エスロンエコハイパーJW管の被覆層の剥離用工具。

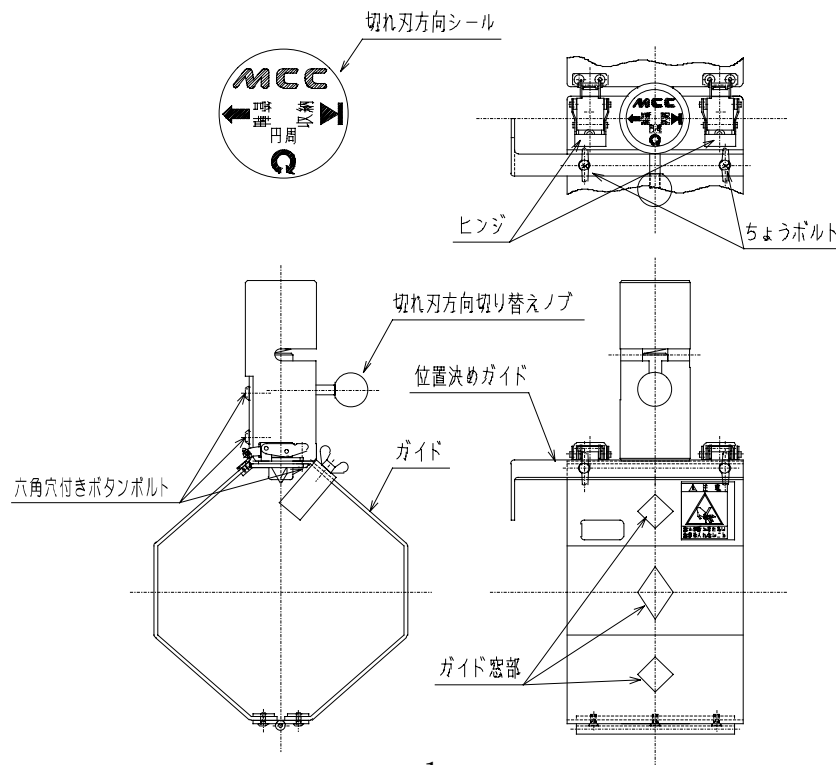
■使用対象管

①管の種類：エスロンエコハイパーJW管

②管の呼びサイズ：50、75、100、150、200

※本製品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

■各部の名称



■安全上のご注意

⚠ 注意

- ①この取扱説明書に記載された使用目的、仕様の範囲でご使用下さい。工具を改造したり、仕様を逸脱することはしないで下さい。
- ②工具を落下させないで下さい。破損又は機能に支障が発生する恐れがあります。
- ③素手で切れ刃に触れないように注意して下さい。
- ④作業中は切れ刃の進行方向のみに作業して下さい。切れ刃の進行方向以外の方向に力を加えると切れ刃を破損する恐れがあります。
- ⑤持ち運びするときは、本体を持つようにして下さい。
- ⑥工具各部の損傷やボルトの緩みがないか常に点検し、損傷やボルトの緩みがあれば修理または増し締めを行ってから使用して下さい。

■剥離作業の前に

- ①切れ刃部など各部に異物の付着などが点検し、異物が付着していれば取り除いて下さい。
- ②本体とガイドの取り付けちょうボルトが緩んでいないか点検し、緩みがあれば増し締めを行って下さい。
- ③その他のボルトに緩みがないか点検し、緩みがあれば増し締めを行って下さい。

■操作方法 管端での剥離作業

- ①取り付け前の確認事項
 - * 管端は管に対して直角に切断されていますか。
 - * 管に有害なキズ・ヘコミ・バリ・カエリがある場合はその部分を切り落して下さい。
 - * 管に付着している土や汚れなどを取り除いて下さい。
 - * 剥離する管のサイズに合った剥離カッタを使用し、ガイドに位置決めガイドをちょうボルトで取り付けて下さい。
- ②切れ刃の位置が収納位置にセットしてあることを確認して下さい。
- ③ガイド両端についているヒンジを外して、ガイドを開いて下さい。
- ④管を覆うようにガイドを閉じて、ガイド両端のヒンジにより固定し、位置決めガイドを管端に合わせて下さい。
- ⑤切れ刃の位置を円周位置に合わせ、円周方向より剥離作業を行って下さい。
 - * 切れ刃が被覆層に切り込んでいることを確認して下さい。
- ⑥円周方向に剥離カッタの本体部を握り、管に対し剥離カッタを2～3周回して被覆層を切り込み開始位置まで切り込んで下さい。
 - * 管端が管に対して直角に切断されていないと、ラセンに切り込む恐れがあります。
- ⑦切れ刃の位置を管軸位置に合わせ、軸方向の剥離作業を行って下さい。
 - * 切れ刃が被覆層に切り込んでいることを確認して下さい。
- ⑧管端の方向に剥離カッタの本体部を握り被覆層を切り込んで下さい。
- ⑨剥離作業が完了したら、切れ刃位置を収納位置に合わせ工具を保管して下さい。
 - * 被覆層は手で取り外すか、先の細いマイナスドライバ等を使用して取り除いて下さい。

■操作方法 管中央（サドル取付け位置）での剥離作業

①取り付け前の確認事項

- * 管にサドル取付け位置をマーキングして下さい。
- * 管に付着している土や汚れなどを取り除いて下さい。
- * 剥離する管のサイズに合った剥離カッタを使用し、ガイドに位置決めガイドがついている場合はちょうどボルトを緩めて位置決めガイドを取り外して下さい。

②切れ刃の位置が収納位置にセットしてあることを確認して下さい。

③ガイド両端についているヒンジを外して、ガイドを開いて下さい。

④管を覆うようにガイドを閉じて、ガイド両端のヒンジにより固定して下さい。

⑤ガイドの窓を基準にサドル取付け位置のマーキングに合わせるように剥離カッタを調整して下さい。

⑥切れ刃の位置を円周位置に合わせ、円周方向より剥離作業を行って下さい。

- * 切れ刃が被覆層に切り込んでいることを確認して下さい。

⑦円周方向に剥離カッタの本体部を握り、管に対し剥離カッタを2～3周回して被覆層を切り込み開始位置まで切り込んで下さい。

- * ラセンに切り込む恐れがありますので、切り込みはサドル取付け位置のマーキングに合わせるように、ガイドの窓より確認しながら作業を行って下さい。

⑧切れ刃の位置を管軸位置に合わせ、軸方向の剥離作業を行って下さい。

- * 切れ刃が被覆層に切り込んでいることを確認して下さい。

⑨ガイドの窓を基準にサドル取付け位置のマーキングの位置まで剥離カッタの本体部を握り、被覆層を切り込んで下さい。

⑩ガイドの窓を基準にサドル取付け位置のマーキング位置に合っているか確認して下さい。

⑪切れ刃の位置を円周位置に合わせ、円周方向より剥離作業を行って下さい。

- * 切れ刃が被覆層に切り込んでいることを確認して下さい。

⑫円周方向に剥離カッタの本体を握り、管に対し剥離カッタを2～3周回して被覆層を切り込み開始位置まで切り込んで下さい。

- * ラセンに切り込む恐れがありますので、切り込みはサドル取付け位置のマーキングに合わせるように、ガイドの窓より確認しながら作業を行って下さい。

⑬切れ刃の位置を収納位置に合わせ、ガイド両端についているヒンジを外してガイドを開いて下さい。

- * 切れ刃の位置が収納位置でない場合、切れ刃で手を負傷する恐れがあるので、管への取り付け取り外しは必ず切れ刃を収納位置に合わせてから行なって下さい。

⑭剥離作業が完了したら、切れ刃位置を収納位置に合わせ工具を保管して下さい。

- * 被覆層は手で取り外すか、先の細いマイナスドライバ等を使用して取り除いて下さい。

■切れ刃の取替え作業安全上のご注意

△ 注 意

- ①切れ刃は大変鋭利になっています。ケガをするおそれがありますので、直接、手指で触れないように注意して下さい。
*切れ刃の取替え時は、必ず保護手袋を着用して下さい。
- ②刃先の研磨、改造することは、カッタの破損につながりますので絶対にしないで下さい。

■替刃（切れ刃）

- ①替刃をお買い求めの時は、「S P E 4 8 J」とご指定下さい。

■切れ刃の取替え方法

- ①切れ刃位置を収納位置にセットして下さい。
- ②本体とガイドを固定しているボルトを六角棒スパナで緩め、ガイドから本体を取り外して下さい。
- ③切れ刃位置を円周位置にセットして下さい。
*切り替える際、切れ刃が飛び出しますので切り替え作業は慎重に行なって下さい。
- ④切れ刃方向切り替えノブを前進端まで指で押した状態で、切れ刃を取り付けているボルトを六角棒スパナで緩め刃を取り外して下さい。
- ⑤替刃「S P E 4 8 J」を切れ刃が取り付けであったボルトで取り付け、六角棒スパナで確実に切れ刃を固定して下さい。
- ⑥切れ刃位置を収納位置にセットし、ガイドを取り付けてあったボルトで本体に取り付け、六角棒スパナで確実に固定して下さい。
- ⑦切れ刃位置を収納位置に合わせ、工具を保管して下さい。

株式会社 MCCコーポレーション

株式会社 松阪鉄工所

☎(059) 234-2454

<http://www.mccc corp. co. jp>